

第19回瀬戸内エコツアー ～春の岡村島ウォーキング～

実施日時：平成25年4月21日（日） 8:50～16:00

場 所：愛媛県今治市関前岡村（岡村島）

講 師：船越 清忠 氏（自然公園指導員）

参 加 者：34名（募集定員30名）

天 候：くもりのち晴れ

内 容：忠海港を出港し、大久野島や大三島、スナメリの生息海域とされる阿波島周辺など瀬戸内海をクルージングしながら岡村港に着港。準絶滅危惧種クロツバメシジミの保護活動を行っている岡村小学校にて、クロツバメシジミを観察しました。島内で国立公園に指定されているナガタニ展望台や観音崎をウォーキングし、岡村島の自然や歴史について学びました。

【実施風景】



開会式

環境省の自然保護官より開会の挨拶。
一昨日まで降水確率60%でしたが、皆さんの日頃の行いでしょうか、晴れとなりましたね。



クルージング

瀬戸内海の自然や島について解説を聞きながら、大崎上島と大三島の間を抜けて岡村島へ向かいました。



阿波島（あばじま）

阿波島周辺は“スナメリ廻遊海面”として、国の天然記念物指定されています。海砂採取の影響により、現在はスナメリの姿を見ることは殆どなくなりました。



屋台でサザエ飯

岡村港桟橋では、土日祝日限定でサザエ飯やあなごの照り焼きなどを屋台で販売しています。この日は皆でお昼ご飯としていただきました。



岡村小中学校にて

準絶滅危惧種クロツバメシジミの保護活動を行っている船越さんより解説を聞きました。生徒数わずか12名の岡村小中学校では、食草であるツメレンゲの栽培などに取り組んでいます。



準絶滅危惧種クロツバメシジミ

一見普通のシジミチョウとなんら変わらないように見えますが…



一円玉と比べると、小さい！
そして、近づいてもほとんど動きません。
行動範囲が狭いことから、地域差がある
チョウの一種です。



羽の表側

名前の通り、黒色です。
また、ルーペで見るほど小さいですが、
後ろの翅がツバメのように突起してお
り、シジミのように小さいことから“ク
ロツバメシジミ”という名が付いていま
す。



幼虫の食草ツメレンゲ

クロツバメシジミが卵を生み、幼虫の食
草でもあるツメレンゲも近年数を減らし
ています。



ナガタニ展望台（標高 125.6m）

桟橋からナガタニ展望台は 30 分。
四国は随分近くに感じます。
前日の雨のおかげで霞もなく、右手に石
鎧連邦を眺めることができました。



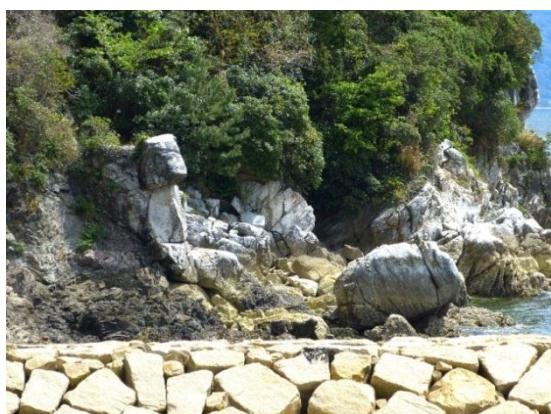
昼食タイム

こんな絶景を眺めながらのサザエ飯は最高でした！



国立公園クイズ

国立公園やクロツバメシジミにまつわるクイズを出しました。実は身近に優れた自然や希少な生き物がたくさんいることが伝わったかなと思います。



カッパ岩とウサギ岩

何となくわかるでしょうか？？
白く見える岩は石灰岩でできており、その昔海の中だったことを表しています。



観音崎

観音崎には遊歩道が整備されています。
対岸は広島県大崎下島の御手洗地区が見えます。



姫子島神社（ひめこじまじんじゃ）

境内には周囲 3m の巨木・ホルトノキがあります。



町内散策

その他、今は珍しい“こて絵”や 400 年の歴史を持つ善照寺など町内散策をして帰路につきました。

皆さん、お疲れさまでした！